

# 京都大学理学研究科・理学部数学教室同窓会

## 役員会 議事録

2018年2月17日(土) 14:00~15:45 京都大学理学研究科3号館305室

出席者：渡辺信三，井川満，重川一郎，平賀郁，松本和一郎，吉田敬之，田中紀子，  
篠崎由香里，

委任状提出：中山素生，吉川謙一，木坂正史，稲生啓行，菊地克彦，阿部拓郎

### 1. 報告

#### (a) 総会行事

- i. 2017年11月11日の総会行事について井川副会長から報告があった。  
出席者数：47名，講演会50名(名簿に記入した人)，懇親会50名
- ii. 2017年12月06日の世話人会の反省会が出た意見・反省点について井川副会長から以下の報告があった。
  - A. 懇親会会場の演壇のステップを両側に置くことについて  
スピーチをしてくれた方が，降壇のとき，登壇の時とは別の側から降りられ，その側にはステップが無いいため転びそうになった．
  - B. 懇親会での荷物置き場を設置することについて
  - C. 懇親会の会場設定を全員椅子席とすることについて  
会場として時計台が使える，出席者が50名程度であれば，全員椅子席にするのは可能である．
  - D. 懇親会でのプロジェクターの使用について  
懇談の時に，これまでの活動や古いアルバムなどの画像を流すことも考えてはどうか．
  - E. 懇親会でのスピーチの録音を行うことについて  
記録として残しておいた方が良いのではないか．
  - F. 懇親会でコーヒー・デザートを提供するタイミングについて  
今回は早く出すぎたので，次回は生協とよく打ち合わせておく．
  - G. 懇親会で提供する酒類の種類について  
どんな酒を出すかについて生協と相談をしなかったのが，酒の酒類が少なかった．もう少し酒類が多い方がよいだろう．
  - H. 講演会の講師の控え室として施錠できる部屋を用意することについて  
講師が，荷物を安心して残して動けるように配慮すべきである．

#### (b) 会計報告

- i. 吉川謙一氏(会計)が欠席の為，会計実務担当の篠崎氏より主に下記の報告があった。
  - A. 総会の支出について  
収入：懇親会会費 40万円(8,000×50)  
支出：総額 約45万円

B. 松井充氏の講演者謝礼の寄付について  
松井氏から講演謝金 10 万円をそっくり寄付としていただいた。この寄付は、(b) 会計報告 i (A) の収入には含まれていない。

C. 次回の授与式の見積りについて  
昨年度（約 8 万円）程度の支出であろう。ただし、会場で同窓会の寄付を募り、支出に近い額の寄付を貰っている。

- ii. これまで運営のための費用負担を、会員に対して寄付としてお願いしてきた。次年度からは年会費と寄付に分けてお願いするとの井川副会長から提案に対し、松本氏から
- 年会費とすると、一定期間に亘る滞納者は除名などの罰則が思い浮かぶ。
  - これまでに多額の寄付をしてくれた会員には、その寄付を今後の年会費の前納と扱うのか、
- などの問題が生ずることの指摘があった。加えて、今回の処置が会員の退会に決して繋がることのないよう十分に配慮した年会費や寄付の依頼であるように、と希望された。

(c) 同窓会誌

- i. 同窓会誌の原稿を下記の方々に依頼している旨が重川氏から報告された。
- 松井充氏, 佐古和恵氏, 河野敬雄氏, 高田智宏氏, 松本和一郎氏, 西田俊夫氏, 三木良一氏
  - 専攻長, 専攻主任 (懇親会・授与式のスピーチ)
  - 卒業生数名
- ii. 重川氏から、1 月 21 日に寄稿に関わる編集委員会が開催されたことの報告があった。

2. 議事

(a) 会則・運営細則の改定

- i. 井川副会長より会則・運営細則の改定について報告があり了承された。また吉田氏より会則の数字にピリオドをつけることが提案され了承された。

(b) 今年度の行事予定

i. 学位授与式

A. 井川副会長より学位記授与式の日程について報告があった。  
学部：3 月 27 日（火）、修士課程：3 月 26 日（月）

ii. 総会

A. 日程

- 総会・講演会・懇親会の日程について、11 月初旬のホームカミングデーの前、10 月の下旬を目処に、講演会講師の都合にあわせて早い時期に決めることが井川副会長から提案され了承された。

B. 講演会講師候補

- 次回の講演は佐古和恵氏（日本応用数理学会会長）に依頼することが提案され了承された。また佐古氏への依頼（講演内容は Bitcoin）は重川氏から行うことが決まった。

- 次回以降の総会において講演会の講師の候補者推薦や講演内容の希望についてアンケートを行うことが吉田氏から提案された旨、井川副会長から報告があり、その方向でアンケートを行うことが了承された。またアンケートについては講演会の感想についても行うことが井川副会長から提案され了承された。
- 井川副会長から、次回以降の講演会講師について、数学教室の現職の方も候補として考えてよいのではないかという提案があった。
- 森脇淳氏から清水博氏（日本生命）を検討してはどうかという提案があった旨、篠崎氏から報告があった。

(c) 愛称募集

i. 日程

- A. 日程については急がないことが決まった。

ii. 選考の仕方

- A. 愛称の募集方法についての意見を募集したうえで、次回の総会で愛称の募集要項の叩き台を提案することが、井川副会長から提案され了承された。

- B. 選考は役員会で行う旨が提案された。

iii. 応募候補のなかから必ず決めるのか

- A. 松本氏から、募集したものの中から必ず愛称を決めることにした場合の問題点の指摘があり、必ずしも決めないとの方向で案を作成することとされた。

3. 同窓会発足以来、渡辺信三氏が会長の任を担い、今年度末（5月31日）で会長を退かれることに関して、井川満副会長から会長の重任を担ってきたご労苦への謝辞が述べられた。

以上、役員会は散会となる。